

【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52 (19)	ホームでの機能訓練として体操や口腔体操など徹底できるといい	毎日ラジオ体操と口腔体操を習慣として行うことができる	日勤帯でラジオ体操、食事前に歌や発声など協力しながら行うようにしていく	1ヶ月
2	33 (12)	看取りや終末期におけるマニュアルや研修を会社全体で見直しできるといい	看取りや終末期のマニュアルが会社と連動して見直しができる。 再度研修として行うことができる	本社の監査室と相談し、マニュアルの見直し 再度看取りや終末期の研修の実施	1ヶ月
3	2 (2)	地域への発信が積極的にできるといい	地域へのホームへの理解が深まり、ホームからも地域の人が携われる事柄が発信できる	推進会議での積極的な発信、お祭りや行事への参加声掛け、合同の防災訓練等の実施	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月